

委員からの事前意見質問等【第1部会】

基本施策	意見質問等
防災	<p>地域防災計画の市民への周知に関する策の記載を望みます。</p> <p>例えば、地域3あい事業に、防災（地域住民の役割）をテーマとしたものの開催を必須または選択肢として明記したらどうでしょうか。</p> <p>地域防災計画における地域住民（自主防災会）の災害発生時の役割として、地域の道路の障害物除去等通行復旧作業を加えることを提案します。そもそも消防車等が走れなかったら救助復旧活動が困難になるからです。（文化・生涯学習からも回答）</p>
	<p>まちの状態を表す指標について、自然災害の死傷者数では「絶えずゼロ」となり、緊迫感のない指標となりますので、もう少し現実的な指標の設定をご検討ください。例えば、地域ごとの防災活動の状況など。</p>
	<p>災害発生直後だけでなく、災害発生からの時間経過に伴う被災者の衣食住全体を考えて備えをする必要があると思うが、その点はどのようにしているか。</p>
	<p>地域住民のなかでも主力となる年代は就労しており、休日でなければ講座や訓練に参加しにくい。小学校区での親子での参加などを促す形があってもよいと思う。</p>
生活安全	<p>自転車安全利用条例の制定や自転車損害賠償保険の義務加入の是非についての検討を望みます。（名古屋市や知多市等で条例制定済み。）</p>
	<p>市内の防犯カメラの設置数、状況、方針等を教えてください。</p>
	<p>基本施策の目的・目指すまちの姿ですが、被害者の視点でのみ書かれています。加害者となることを避けることまで含めることを提案します。</p> <p>巻き込まれるという表現は受け身ですが、「当事者になることがないよう」など。</p> <p>住民自身の参加を促す、センサーライトの設置や防犯カメラの設置を働き掛けるなどです。</p>
	<p>犯罪多発地区には、早期教育を実施することで治安改善にとどまらず教育水準が上がったという実験結果もある。単に監視を強めるだけの施策に終わらないようにしてほしい。</p>
消防・救急	<p>地域3あい事業に、救命（胸骨圧迫とAED使用）をテーマとしたものの開催を、必須または選択肢として明記することを提案します。（文化・生涯学習からも回答）</p>
	<p>若者世代の小学校区単位の地区防災訓練への参加を、ただ防災訓練だけでなく、同級生同士のつながりをもたせる機会にしてはどうか。</p>
	<p>消火活動などは地域での初動が肝心だと思う。消火栓の所在の周知や、使い方などを住んでいる地域で訓練することが望ましい。</p>

基本施策	意見質問等
環境	<p>市民環境講座の充実だけでなく、生活圈、例えばスーパーマーケットなどのリサイクルやリユースの場に掲示をするなど、講座までいかなくても啓発できる活動があってもよいのではないか。</p> <p>こどもたちを対象にした水生生物調査や自然観察会は、親子や祖父母と参加できるようにしてもよいのではないか。</p>
ごみ対策	<p>ごみ収集や資源回収について、区（自治会）の関与を明記し、地域住民の皆が責任を持って対処する精神を醸成する策を望みます。（自主的な活動ではなく、市民の義務であるということを明記。）</p> <p>現在、家庭系ごみは市民と業者と行政が協働して減量に成功し、リサイクル率でも成果をあげています。しかしながら事業系ごみは、なかなか減らず横ばいが続いております。家庭系ごみも事業系ごみも処理費用は市民の税金から支出されております。企業の社会に対する使命の一つは、税金を払って社会に貢献することです。そこで、現在、エコルセンターの持込手数料が1kgで20円だそうです。以前から変更がないと聞いております。私は市の財政の健全化のために、企業ごみに対する料率と手数料の見直しを提案したいと思います。</p> <p>すでになされていると思うが、ゴミの分別方法の周知を、在住外国人の母語でする必要がある。</p> <p>ゴミを捨てる場でも、改めて分別して出すように指示する掲示があると良い。（図示しておくなど）</p>

基本施策	意見質問等
シティプロモーション	<p>名古屋コーチンは、日本三大地鶏の一つといわれ、地鶏の王様と呼ばれています。</p> <p>この名古屋コーチンの発祥の地は、本市池之内地内です。</p> <p>現在、発祥の地として小さな碑があり、海部壮平・正秀兄弟を紹介されていますが、訪れる人もなく淋しいものです。</p> <p>日本三大地鶏名古屋コーチンの発祥の地であることをインパクトあるPRや関係事業を展開すべきと考えます。</p> <p>体制づくりを望むものです。</p>
	<p>市内在住の外国人への配慮として、こまき巡回バスの停留所等各種の表示にローマ字表記を併記することを望みます。</p> <p>(都市交通からも回答)</p>
	<p>インバウンドを見込んで、在住外国人による小牧の紹介などがあってもよいのではないかと。</p>
	<p>小牧夏まつりを、展開方向3, 4と関連づけるとよいのではないかと。</p>
農業	<p>農地の整備(田の区画整理で区画の拡大、畑への転換)を行い、大規模営農を増す。田を畑へ転換する場合、補助し畑作を推進する。農業法人の創設や誘致で営農専門者を増す。</p>
	<p>専業農家を新たに確保するのは難しいのではないかと。法人を誘致して、パートタイムでもできる農業の展開を期待したい。</p>
	<p>市民菜園のように気軽に野菜づくりができる場が増えるとよいのではないかと。</p>
商工業	<p>小牧市の強みは、「製造業や物流業など」が盛んで、多くの職場に恵まれていることだと考えます。</p> <p>この強みにより一層の磨きを掛けるためには「インパクト」が少し弱い気がしますがいかがでしょうか。</p>
	<p>従業者4名未満の事業所は、多くが家族経営によるものではないかと。家族のなかで事業を引き継ぐ者がいないケースが多いとすれば、事業継承(売却)を検討していくのも一つの手だと思われる。</p>

基本施策	意見質問等
市街地整備	<p>田県神社前駅の移転については、名鉄に対して多額な費用負担が生じるため、現時点では考えていないとの回答となっています。</p> <p>私自身も、国・本市・名鉄等の関係から、本市の費用負担は多大なものではないかと考えますが、当地は、本市の市街地整備としては、重要課題と考えています。</p> <p>数年で解決できるものではありませんが、本市として、国・県・名鉄等関係機関に積極的に働き掛ける努力は必要と考えます。</p> <p>回答からは、消極的ではないかと感じています。</p> <p>将来に道を開く決意と努力を期待しています。</p>
都市交通	<p>市が責任を持つ都市交通施策について、通勤・通学者及び自動車運転が困難な高齢者等交通弱者への便宜や配慮である等と記述（特化・強調）したほうが施策の方向性が明確になると思います。</p> <p>市内在住の外国人への配慮として、こまき巡回バスの停留所等各種の表示にローマ字表記を併記することを望みます。</p> <p>（シティプロモーションからも回答）</p> <p>巡回バスではニーズに十分応えきれないと思う。乗り合いタクシーなどの検討も必要ではないか。</p>
道路	<p>既設置の橋梁、歩道橋、上下水道網等について、各設備に寿命（改築必要時期）等を表示して、利用者の意識喚起を図ったらどうでしょうか。</p>
上下水道	<p>既設置の橋梁、歩道橋、上下水道網等について、各設備に寿命（改築必要時期）等を表示して、利用者の意識喚起を図ったらどうでしょうか。</p>
河川・水路	<p>記録的豪雨が頻発するなか、降雨量による浸水被害のシミュレーションを行い、それを前提に避難経路や避難場所を確認することが必要だと思われるが、実施されているか。</p>
住宅	<p>住む側にとっては、耐震改修やバリアフリーのための改修、さらには同居・近居のための改修などを一度にやったというモデルケースがあると、検討する家族も出て来るのではないか。（ただしライフイベントの時期のズレや、未婚・晩婚や少子化によって、ニーズは異なる。）在宅での介護も進められているなか、耐震とバリアフリーをセットで考えるケースがあってもよいと思う。</p>
その他	<p>空き家問題に関する市の姿勢等、何らかの言及があればと思います。</p> <p>若い世代の定住・移住を増やす。</p> <p>世代に合った住宅（比較的安価な賃貸、中古売却物件）を紹介する制度の創設。空き家対策にもつながる。</p> <p>東部地区開発（小牧ハイウェイオアシス事業、東部スマートIC開発）に対する本市の取り組みについて。</p>

委員からの事前意見質問等【第2部会】

基本施策	意見質問等
健康づくり	<p>自らの健康は継続的な運動習慣がとても大切です。 展開方向として記述は「公助」が主体ですが、「自助努力」を促す表現を付け加えてはいかがでしょうか。</p>
障がい者 (児)福祉	<p>市営住宅について、基本施策障がい者(児)福祉のグループホームの整備と連結させ、その一部をグループホームとして整備するというのはどうでしょうか。</p>
学校教育	<p>女子の自撮り画像の SNS での拡散被害が問題となっている。学校への出前講義で(できれば親子で)参加できるものがあるのもよい。</p>
子育て支援	<p>少子化と将来人口の減少を予測する中で、昨年9月に子育て世代包括支援センターがスタートしたことは大きな意義と役割があると思います。これからは、支援プランの作成や直面する課題に向かって進めていくことと思います。この小牧で安心して暮らし続けたい、この小牧で生活し続けたいという青年たちやカップルがたくさんおります。そういうカップルに対して出産祝い金(第1子～第3子)を贈呈して、町に活力を与えたらどうかと思っています。若者たちがこの町で、明るく楽しい家庭をつくる第一歩を市でお祝いしてあげたいと考えます。</p> <p>小牧市が掲げている「子育てに優しいまち」はとてもよいスローガンであり大賛成ですが、この展開だけでは、「働くママたち」は物足りなさを感じると思います。私が小牧市の保育園で行ったアンケートでは、フルタイムで働いている方は4割以下でびっくりするほど少ないのが現状です。急な残業、急病への対応などの不安を解消しないと、フルタイムへの移行が困難です。</p>
文化・生涯学習	<p>先日、私は文化庁が製作した小牧地方に残された伝統芸能のDVDを見ることができました。神明社の秋葉祭り、どんてん、木遣り、棒の手等、まったく知らなかった伝統芸能が現在も保存し、発展させていきたいという主催者の熱い思いを知ることができ感動しました。近年、こまき市民文化財団の創立で新しい文化・芸術に触れ合うことができることは、豊かな人生を支える上で、とても大切なものだ痛感しております。</p> <p>そこで私は、新しい文化を大いに取り入れ、町が活性化することは大賛成ですが、昔ながらの伝統芸能の灯を消さないよう、市はどのような支援をされているのかお聞きしたいと思います。</p> <p>地域3あい事業に、防災(地域住民の役割)や救命(胸骨圧迫とAED使用)をテーマとしたものの開催を必須または選択肢として明記したらどうでしょうか。(防災、消防・救急からも回答)</p>
その他	<p>勤務していた企業の女性の活躍は、欧米企業と肩を並べるほど進んでいます。小牧市役所が「率先垂範してモデル職場」となり、小牧市の事業所に見本を示す取り組みをしていただけることに期待します。</p>

